私のちぎり絵教室

手先が紡ぎ出す和紙の絵、「ちぎれない」といい作ら「楽しい！」無心になって黙々と和紙をちぎる、「どうですか？」と聞くと「苦しいけど楽しい！」「ちぎり絵のある日はよく眠れる」と。特に「椿」の教材は人気作品、パーツが大きくて、にだちぎるだけではなく、花芯を作るため和紙を竹串に巻いて寄せると「わあーすごい！」と歓声、又花粉をハサミでチョキチョキ切って散らす技、これも楽しい。パラパラやモリモリの花粉あり、「ワアー椿だ！すごい！」皆「私」の椿が完成し自分にも出来たという満足感、色紙掛、額に入れると一層素晴らしく、これが「私」の作品？とホクホクの笑顔で解散。残り和紙で庭に咲いているかわいい五花のちぎり絵が出来ますヨとハガキを渡す。ちぎり絵教室の一コマです。風にそよぐやさしい花々が色紙の中から踊り出て、創始者西村美沙子先生の魂が永遠に吹き渡っていくことでしょう。

20×20